

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	幸ヶ丘小校区	担当班	議員名	担当
参加人数	20人		◎坂下 春則	司会進行
開催日	平成27年7月28日(火)		森田 哲朗	活動報告(総務文教)
開催時間	午後7時～午後8時30分		杉元 豊人	(経済産業)
会場	生駒公民館		吉藤 洋子	(市民厚生)
その他	1班		鎌田 豊数	(広報広聴)
			森田 哲朗	記録・報告書作成

◎班代表者

意見交換会の内容		※□市民の意見	■議員の意見
統一テーマ	<p>「活力ある地域づくりのために ～雇用・結婚・子育て・定住～」</p>		
<p>【意見交換の概要】</p> <p><input type="checkbox"/> 空き家の登録、貸借契約、助成制度など市の空き家対策を説明してほしい。 ■ 市では移住・定住対策の一環として、「空き家バンク」を設け、移住希望者に情報提供をしている。また、不動産会社に取り依頼されていない利用可能な空き家の情報提供者と所有者に登録された場合、5,000円ずつ謝礼金が出る(空き家バンク謝礼金制度)。移住者との契約が成立した場合、物件所有者に最大40万円の空き家改修補助がある。なお、市の関与する情報提供のみである。</p> <p><input type="checkbox"/> 市立病院には小児科の常勤医師がいない。夜間・休祭日は都城救急医療センターに連れていくしかない。市立病院は西諸中核病院である。医師を確保してほしい。選挙公約に挙げながら成果が出ていないではないか。 ■ これまでも多くの議員が議会で医師確保活動や見通しや成果を質してきた。特に小児科、産婦人科医は全国的にも医師不足状態である。当局も確保に奔走しているが大変厳しい状況である。現在は非常勤医師が毎週金曜日と日曜・祝日は月2回診療している。常勤医師確保に向けて諦めずに当局に要望していく。</p> <p><input type="checkbox"/> この地区も40代の未婚男性が多い。公的または私的な婚活事業はどういう状況か。ダイレクトメールなどで婚活案内を出すなどしてはどうか。 ■ 婚活事業は団体や商店街などでは行われているが市としての取り組みはない。以前、野尻町で実施した「トリプルあい事業」を復活させてはという意見が議員から出されている。この事業は地元の参加者だけではなく近隣市町村からの参加もあった。成婚に結び付いた実績もある。一般質問や委員会審査を通して提案していく。</p>			

意見交換会の内容

※□市民の意見 ■議員の意見

テーマ② 校区内にある公の施設の管理について

【意見交換の概要】

□幸ヶ丘小校区（南西三区）内にある公共施設はどんなものがあるか。どこに管理を委託しているか。契約期間は何年間でいつからいつまでか。指定管理料はいくらか。校区で受託できるのであれば校区の活性化になると思うが。

【調査事項】多目的広場、テニスコート、コスモホールの指定管理を、(株)NPKが平成25年から29年までの5年間、年442万6千円で受託している。自主事業としてグランドゴルフ大会を開催し、施設利用料を増やしている。資格要件もあり、公募に委ねている。様々な責任が生じるので、今後検討すべき課題である。

テーマ③ 南西3区の自主防災について

【意見交換の概要】

□現在、幸ヶ丘小校区（南西三区）は第3分団第10部に所属している。校区独自で自衛消防団を結成する場合の組織の作り方、手続き、助成金、校区負担分などを伺いたい。現在、南西三区から第10部に9～10名の消防団員を加入させており、消防団員として養成中である。

【調査事項】幸ヶ丘小校区だけで団員の確保ができるかどうかは課題である。市としては、自主防災組織（自衛消防団）の支援に努めたいと考えている。

自由意見の交換

※□市民の意見 ■議員の意見

□家のすぐそばに巢の浦川がある。川底には大きな石がゴロゴロあり、ゲリラ豪雨の時に濁流が石を乗り越えて大変危険である。この石を撤去してもらえないか。平時の雨なら上流に砂防ダムがあるので水は出ない。河川の管理は県であり、県に申し入れたが対応は芳しくない。

■この状況を市建設課に伝える。

□近くに県の河川監視カメラや雨量計が設置してある。監視カメラの画像を自宅のパソコンでリアルタイムに見られるような仕組みを考えてもらえないか。

■要望を市建設課に伝える。

□この地区は公衆通信回線によるインターネット接続のため、スピードが非常に遅くて困っている。幸ヶ丘小学校には光ケーブルが敷設されていると聞いたが利用させてもらえないか。

【調査事項】市内の小・中学校は国の政策で国庫補助を受け、一斉に光ケーブルを敷設した。確かに幸ヶ丘小学校にも光ケーブルが敷設されている。しかしこれを一般市民に開放して共同利用することには、いろんな制約があって難しいようである。

□ 8月2日（日）は道路愛護デーであり、区民総出で道づくり奉仕作業を行う。この時に切った太い樹木を市が処分してほしい。

■ 【調査事項】 7月29日に担当課につないだ。

□ 市道が狭くて車の離合が困難な箇所がある。側溝に蓋をかぶせて道路を少しでも広く使えるようにしてほしい。

■ 【調査事項】 7月29日に担当課につないだ。

□ U字溝の蓋が無くなった箇所がある。4月ごろ建設課に中古蓋でいいからかぶせて欲しいとお願いしたが音沙汰ない。

■ 区長を通して再度建設課に申し入れてほしい。

□ 土石流警戒地域の農振地に家を建てる場合、農振除外を早めてもらえないか

■ 農業振興課は通常年2回（6か月ごと）の受付・審査をして決定している。

□ 県の事業として土石流警戒地域にU字溝を入れて整備するように、県に働き掛けているが動きは鈍い。市からも要請してもらえないか。

■ 要請があったことを市建設課に伝える。

議会活動報告への意見

※□市民の意見 ■議員の意見

※特にありません。